

報道関係各位

universal sound design®

2017年8月1日

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

**卓上型会話支援システム「comuoon®シリーズ」を展開するユニバーサル・サウンドデザイン、
第三者割当増資を実施、京銀未来ファンドから約2000万円の資金調達**

卓上型会話支援システム「comuoon®(コミュニオン)」を開発・販売するユニバーサル・サウンドデザイン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:中石 真一路、以下『ユニバーサル・サウンドデザイン』)は、このたび、京都銀行(本社:京都府京都市 頭取:土井 伸宏)と京銀リース・キャピタル株式会社(本社:京都府京都市 代表取締役社長:奥野 浩)が共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合(以下『京銀未来ファンド』)」を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額約2000万円の資金調達を実施しました。

comuoon®シリーズは、聞こえにくい環境において音声コミュニケーションを支援する製品として、話者側からのアプローチを実現した世界で初めての卓上型対話支援システムで、2013年12月のデビュー以降、対話支援の世界における新しいトレンドとなっています。現在では、学校や病院、福祉施設、一般企業、行政機関など、全国各地約3,000ヶ所以上の施設に導入し、お子様からお年寄りの方まで多くの方にご利用いただいております。

京都銀行では、バリアフリー化に向けた取組みとして、昨年より全営業店の窓口等に comuoon®を設置しています。また京銀未来ファンドは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等への投資を通じ、地域経済の活性化と地域創生に貢献してきました。ユニバーサル・サウンドデザインは、今回の資金調達により、様々な用途に応じた comuoon®派生製品の研究開発のスピードアップやお客様サポートの拠点強化を図ります

今後もユニバーサル・サウンドデザインは、聴こえのバリアフリー社会の実現に向けて、あらゆるシーンでコミュニケーションを支援してまいります。

< 第三者割当増資について >

・引受額: 19,980,000 円

・引受先: 京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合(略称: 京銀未来ファンド)

「comuoon®」について

「comuoon®」は、聴こえが気になる方に対して、話者側から歩み寄るというコミュニケーション支援の新しい形を実現した、卓上型会話支援システムです。補聴器のように従来の”聴き手”側だけの問題に焦点を当てるのではなく、”話し手”の声を聞きやすい音質に変換しコミュニケーションを支援します。

「話者側からのアプローチ」というアイデアと利便性、使い勝手の良さに加えて、特に明日を切り拓く力を持ち、未来を示唆するデザインを兼ね備えたものとして、2016 年度グッドデザイン賞を受賞。「グッドデザイン・ベスト 100」にも選出されました。「comuoon®」の活用による「聴こえのユニバーサルデザイン」は、医療機関や療育機関、金融機関を中心に 3,000 ヶ所以上の施設で導入しています。(2017 年 8 月時点)。



<http://u-s-d.co.jp/products/>

《ファンド概要》

京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合(略称:京銀未来ファンド)

- ・出資者:無限責任組合員 京銀リース・キャピタル株式会社
有限責任組合員 株式会社 京都銀行
- ・設立:2016年2月
- ・ファンド総額:5億円
- ・投資対象:当行営業エリア内に本社を置く以下の企業
 - ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等
 - ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等

《会社概要》

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

- ・設立:2012年4月
- ・資本金:174百万円
- ・代表者:代表取締役 中石真一路(なかいし しんいちろう)
- ・所在地:東京都港区海岸 1-9-11 マリンクス・タワー2F
- ・事業内容:
 - ・聴こえ支援機器の設計・開発・販売
 - ・各種店舗、建築物および室内空間のサウンドデザイン企画、制作コンサルタント業
 - ・スマートフォンアプリケーションの設計・デザイン・開発
 - ・スピーカーおよびアンプなどの音響機器の設計・製造・販売
 - ・PA および SR 用音響機器の改修および修理